

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 化学品等の名称 | グリセリン |
| 製品コード | EL007-01 |
| 供給者の会社名 | 合同会社eLANT |
| 住所 | 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 1-1-1号室 |
| 電子メールアドレス | info@elant.co.jp |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 試験・研究以外に使用しないでください |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-----------|------------------|------|
| GHS分類 | | |
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | - |
| | 可燃性ガス | - |
| | エアゾール | - |
| | 酸化性ガス | - |
| | 高圧ガス | - |
| | 引火性液体 | - |
| | 可燃性固体 | - |
| | 自己反応性化学品 | - |
| | 自然発火性液体 | - |
| | 自然発火性固体 | - |
| | 自己発熱性化学品 | - |
| | 水反応可燃性化学品 | - |
| | 酸化性液体 | - |
| | 酸化性固体 | - |
| | 有機過酸化物 | - |
| | 金属腐食性化学品 | - |
| 健康に対する有害性 | 鈍性化爆発物 | - |
| | 急性毒性(経口) | - |
| | 急性毒性(経皮) | - |
| | 急性毒性(吸入:気体) | - |
| | 急性毒性(吸入:蒸気) | - |
| | 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) | - |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | - |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2B |
| | 呼吸器感受性 | - |
| | 皮膚感受性 | - |
| | 生殖細胞変異原性 | - |
| | 発がん性 | - |
| | 生殖毒性 | - |
| | 生殖毒性・授乳影響 | - |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | - |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | - |
| | 誤えん有害性 | - |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | - |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | - |
| | オゾン層への有害性 | - |

注:上記記載の - は、分類対象外または分類できないことを示す

GHSラベル要素

| | |
|---------|----------------|
| 注意喚起語 | 警告 |
| 危険有害性情報 | 軽度の皮膚刺激 眼刺激 |
| 保管 | - |
| 廃棄 | - |
| 他の危険有害性 | - |

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|------|
| 化学物質・混合物の区別 | 化学物質 |
|-------------|------|

| 化学名又は一般名(別名) | 化学式 | 化審法官報公示番号 | 安衛法官報公示番号 | CAS登録番号 | 濃度又は濃度範囲 |
|---|--|-----------|-----------|---------|----------|
| グリセリン (グリセロール) (1,2,3-プロパントリオール) | CH ₂ (OH)CH(OH)CH ₂ (OH) | 2-242 | 公表 | 56-81-5 | 99.5% |
| GHS分類に寄与する不純物:なし | | | | | |
| 4. 応急措置 | | | | | |
| 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合 飲み込んだ場合 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 | 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 数分間水で洗浄する。もしコンタクトを装着して取り外せるなら取り外し、洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 口をすすぐ。意識のない人には何も与えないこと。直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。 個人用保護具を着用すること。 | | | | |
| 5. 火災時の措置 | | | | | |
| 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 特有の消火方法 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤、砂 利用可能な情報なし 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。 利用可能な情報なし 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装置を着用する必要がある。 | | | | |
| 6. 漏出時の措置 | | | | | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機械 二次災害の防止策 | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に喚起を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。 | | | | |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | | | | | |
| 取扱い 安全取扱い注意事項 接触回避 衛生対策 保管 | 技術的対策 火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所廃棄装置を使用すること。 安全取扱い注意事項 容器を転倒させたり、落下などの衝撃を与えたり、引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。静電気放電を避けるために必要な措置をとる。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。 接触回避 使用後は容器を密閉する。取り扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 衛生対策 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋、その他汚染した保護具を持ち込んではいけない。 保管 安全な保管条件 直射日光を避け、喚起のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。 安全な容器包装材料 ガラス、鉄 混触禁止物質 強酸化剤 | | | | |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | | | | | |
| 管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具 | 日本産衛学会 N/A ACGIH TWA 10mg/m ³ (vapor) 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所廃棄装置を設備する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。 呼吸用保護具 保護マスク 手の保護具 保護手袋 眼、顔面の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型、または全面保護眼鏡) 皮膚及び身体の保護具 長袖作業着 | | | | |
| 9. 物理的及び化学的性質 | | | | | |
| 物理的状态 | 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 | | | | |

| | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 融点・凝固点 | 18-20°C |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | 上限: データなし、下限: 0.9 vol% |
| 引火点 | 177°C |
| 自然発火点 | 400°C |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 水、エタノール: 溶けやすい。ジエチルエーテル: 極めて溶けにくい。 |
| n-オクタノール／水分分配係数(log値) | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | 1.26 g/ml |
| 相対ガス密度 | 3.17 |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------------|
| 反応性 | データなし |
| 化学的安定性 | 吸湿性がある。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の処理ではなし。 |
| 避けるべき条件 | 高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO2) |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|---------------------------|
| 急性毒性(経口) | LD50: 12600 mg/kg (Rat) |
| 急性毒性(経皮) | LD50: >10 g/kg (Rabbit) |
| 急性毒性(吸入) | LC50: >570 mg/m3/1H (Rat) |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 軽度の皮膚刺激 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 眼刺激 |
| 呼吸器感作性 | データなし |
| 皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|--|
| 生態毒性 | 藻類/水生植物 N/A |
| | 魚 Oncorhynchus mykiss: LC50 /96H >51-57 mL/L |
| | 甲殻類 Daphnia magna: EC50 /24H >500 mg/L |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|------------------------------|
| 残余廃棄物 | 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規則に則る必要がある。 |
| 汚染容器及び包装 | 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規則に則る必要がある。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|------|--------------------------|
| 国際規制 | 国連番号 非該当 |
| | 品名(国連輸送名) 非該当 |
| | 国連分類(輸送における危険有害性クラス) 非該当 |
| | 副次危険 非該当 |
| | 容器等級 非該当 |
| | 海洋汚染物質 非該当 |

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び
IBCコードによるばら積み
輸送される液体物質

利用可能な情報はない

国内規制

海上規制情報 規制されていない
航空規制情報 規制されていない
陸上規制情報 消防法の規定に従う。

15. 適用法令

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 化審法 | 非該当 |
| 消防法 | 危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性 |
| 海洋汚染防止法 | 施行令別表第1有害液体物質 Z類物質 |

16. その他の情報

[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。記載内容は通常取り扱いを対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取り扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。また、本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。